

# フクシマの子どもの未来を守る家ニュース No. 57

## \*\*原発再稼働 NO! \*\*

新潟県の柏崎刈羽原発再稼働で原子力規制委員会が「適合」と判断するなか、新潟市の県民会館で10月8日「なくそテ原発新潟大集会」が開催されました。参加者は1000名に上り、一致して**再稼働 NO!**の声をあげました。この集会に対し、新潟県の米山知事は、「三つの検証がなされない限り原発再稼働の議論はできないという立場を堅持し、皆さんと力を合わせていきたい」とのメッセージを寄せました。

また9日には「柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会」主催で「東京電力柏崎刈羽原発の再稼働問題を考えるシンポジウム」が都内で開催され、参加者は約100名でした。

「原発再稼働などに、住民、市民の意見を反映させる仕組みの必要性」（県民の会：片桐氏）

「活断層の評価基準を見直して審査をやり直すべき」（新潟大名誉教授：立石氏）

「原発が必ずしも地域に生産性拡大効果をもたらさない」（新潟大准教授：藤堂氏）

等の指摘や批判が出されました。

★私達の暮らす庄内地方は、柏崎刈羽原発から約百キロの所にあり、もし柏崎刈羽原発が事故を起こせば、庄内地方も放射能に汚染されることは**明白**です。

「フクシマの子どもの未来を守る家」は、先日団体として

「再稼働の為の適合審査に反対するネット署名」に署名したことをご報告いたします。

## ～\*\*9月9日学習会&夏休みの反省会\*\*～

夏休みの活動に参加したり、参加は難しかったり、はたまた原水禁ナガサキ大会に参加したり、それぞれの夏を終えたサポーターが集まり、学習会と反省会を行いました。学習会では、「アレクセイビッチ フクシマへの旅」をみんなで見ました。サポーターKさんの感想を共有させていただきたいと思います。

「私もそうかもしれないけれど、時間の経過とともにフクシマの原発事故のことに対する意識が薄くなっている。鶴岡では普通の生活がずっとできているから特にそうなのだろう。今回のような映像は見た方がいい。多くの人が見た方がいい。忘れてはいけないと思うので。

それから、国家は人間を守ってくれないということははっきり認識すべきだと思った。人間同士、他人の気持ちによりそうことができればいいと思う。アレクセイビッチさんが日本には抵抗の文化がないというようなことを言っていたことが印象に残りました。原発には抵抗すべきだと強く思った。」これからもサポーターの中だけでなく、外にもどんどん発信していきたいですね。

### 10月21日（土）柿もぎ実施

ボランティアさん3名、サポーター1名で柿もぎを行いました。なんとその量はコンテナに3杯分！！



### 10月22日（日）医療生協健康祭りに出店

手作りのお菓子とフリーマーケットを出店いたしました。皆様のご協力のおかげで、約1万3000円の収益がありました。



おいそうな  
お菓子ですね！  
なんだかお腹が  
すいてきました。